

平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年5月10日

上場取引所 大

上場会社名 助川電気工業株式会社
 コード番号 7711 URL <http://www.sukegawadenki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百目鬼 孝一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 小滝 理
 四半期報告書提出予定日 平成25年5月15日 配当支払開始予定日

TEL 0293-23-6411
 平成25年6月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第2四半期の業績(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	2,248	8.5	218	73.2	216	73.9	126	129.3
24年9月期第2四半期	2,072	7.4	125	68.3	124	75.7	55	21.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第2四半期	18.94	—
24年9月期第2四半期	8.26	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第2四半期	6,370	3,661	57.5
24年9月期	5,982	3,501	58.5

(参考) 自己資本 25年9月期第2四半期 3,661百万円 24年9月期 3,501百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	8.00	—	4.00	12.00
25年9月期	—	8.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	4.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,909	8.5	242	137.6	237	140.0	120	230.7	18.01

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細につきましては、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年9月期2Q	6,710,000 株	24年9月期	6,710,000 株
25年9月期2Q	47,691 株	24年9月期	47,266 株
25年9月期2Q	6,662,493 株	24年9月期2Q	6,663,713 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、EU債務問題が最悪期を脱したことや政権交代に伴う株式市況の回復および円高の是正等による景況感の改善がみられましたが、大企業を中心としたリストラ等が依然として継続している中、原発の汚染水の問題等が改めて取り沙汰されるなど、総体的には閉塞感が強い状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社におきましては、コア技術の一つであるシーズ型のヒータ等の拡販による受注・売上の確保および個人別稼働計画の推進等による社内の生産体制の最適化等を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は22億4千8百万円(前年同期比8.5%増)となり、利益面につきましても、増収効果により、営業利益は2億1千8百万円(前年同期比73.2%増)、経常利益は2億1千6百万円(前年同期比73.9%増)、四半期純利益は、1億2千6百万円(前年同期比129.3%増)となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

エネルギー関連におきましては、火力関連製品は低調に推移いたしましたが、原子力関連製品において、計画が延期されていたものの再開もあって、比較的好調に推移したため、売上高10億7千6百万円(前年同期比8.0%増)、セグメント利益(営業利益)1億9千9百万円(前年同期比20.7%増)となりました。

産業システム関連につきましても、半導体関連製品は低調に推移いたしましたが、液晶パネル製造装置関連製品が好調に推移したことにより、売上高10億1千6百万円(前年同期比9.4%増)、セグメント利益(営業利益)1億4千3百万円(前年同期比72.8%増)となりました。

その他につきましても、売上高1億5千5百万円(前年同期比5.5%増)、セグメント利益(営業利益)1千6百万円(前年同期比6.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は63億7千万円となり、前事業年度末に比べ3億8千7百万円増加しました。負債は27億8百万円となり前事業年度末に比べ2億2千6百万円増加しました。純資産は36億6千1百万円となり前事業年度末に比べ1億6千万円増加しました。

当第2四半期会計期間末における資産、負債及び純資産の状態に関する分析は以下のとおりであります。

(流動資産)

流動資産は、前事業年度末から5億3千万円増加し、38億7千万円となりました。これは主に、現金及び預金、仕掛品が減少した反面、受取手形及び売掛金、未収入金(その他)が増加したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産は、前事業年度末から1億4千3百万円減少し、24億9千9百万円となりました。これは主に、減価償却等により有形固定資産が減少したこと、および、投資有価証券売却等による投資その他の資産の減少によるものであります。

(流動負債)

流動負債は、前事業年度末から2億8千4百万円増加し、23億7千3百万円となりました。これは、主に、支払手形及び買掛金、未払法人税等(その他)が増加したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債は、前事業年度末から5千7百万円減少し、3億3千4百万円となりました。これは主に、退職給付引当金、長期借入金が減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前事業年度末から1億6千万円増加し、36億6千1百万円となりました。これは利益剰余金、その他有価証券評価差額金が増加したものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べて1億9千万円減の9億3千3百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の減少は、1億1千2百万円(前年同期は2億3千3百万円の資金の増加)となりました。これは主に、仕入債務の増加(213百万円)、税引前四半期純利益の計上(195百万円)、減価償却費の計上(59百万円)があった反面、売上債権が増加(△667百万円)したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は、2千4百万円(前年同期比△21.1%)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出(25百万円)によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の減少は、5千3百万円(前年同期比 23.9%減)となりました。これは主に、配当金の支払による支出(△26百万円)、借入金の返済による支出(△26百万円)によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年9月期の下半期につきましては、液晶製造装置向け製品が少なくなるうえ、受注済みの原子力関連の大口作番も、客先都合により大幅に縮小される可能性が高いなど、売上高および作業量とも上期に比し減少する見込みであります。

なお、平成24年11月8日に公表しました平成25年9月期の連結業績予想につきましては、平成25年4月30日に修正を行っております。詳細については、平成25年4月30日発表の「第2四半期個別業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,123,235	933,067
受取手形及び売掛金	1,386,098	2,053,130
商品及び製品	137,386	145,392
仕掛品	405,820	319,250
原材料及び貯蔵品	230,320	233,641
その他	63,703	192,396
貸倒引当金	△6,720	△6,720
流動資産合計	3,339,844	3,870,157
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	625,005	604,293
土地	884,958	884,958
その他(純額)	277,336	226,028
有形固定資産合計	1,787,300	1,715,280
無形固定資産		
投資その他の資産	35,548	34,279
その他	836,127	764,540
貸倒引当金	△15,979	△14,179
投資その他の資産合計	820,148	750,361
固定資産合計	2,642,997	2,499,922
資産合計	5,982,842	6,370,079
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	471,878	684,924
短期借入金	1,240,000	1,240,000
賞与引当金	69,125	69,506
その他	308,238	379,502
流動負債合計	2,089,242	2,373,932
固定負債		
長期借入金	36,640	18,636
退職給付引当金	339,353	304,166
その他	16,294	11,683
固定負債合計	392,288	334,485
負債合計	2,481,530	2,708,418

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成25年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	921,100	921,100
資本剰余金	1,164,309	1,164,309
利益剰余金	1,487,854	1,587,399
自己株式	△30,984	△31,101
株主資本合計	3,542,279	3,641,707
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△40,967	19,953
評価・換算差額等合計	△40,967	19,953
純資産合計	3,501,312	3,661,660
負債純資産合計	5,982,842	6,370,079

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
売上高	2,072,898	2,248,199
売上原価	1,591,776	1,660,660
売上総利益	481,122	587,539
販売費及び一般管理費	355,129	369,283
営業利益	125,992	218,255
営業外収益		
受取利息	2,621	2,087
受取配当金	1,790	2,073
その他	6,530	5,027
営業外収益合計	10,942	9,188
営業外費用		
支払利息	10,259	9,408
その他	2,169	1,477
営業外費用合計	12,428	10,885
経常利益	124,506	216,558
特別損失		
投資有価証券売却損	—	21,238
特別損失合計	—	21,238
税引前四半期純利益	124,506	195,320
法人税、住民税及び事業税	17,000	90,000
法人税等調整額	52,476	△20,875
法人税等合計	69,476	69,124
四半期純利益	55,030	126,196

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	124,506	195,320
減価償却費	57,830	59,134
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,800	△1,800
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,688	381
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△56,864	△35,187
投資有価証券売却損益(△は益)	—	21,238
受取利息及び受取配当金	△4,412	△4,161
支払利息	10,259	9,408
売上債権の増減額(△は増加)	154,189	△667,031
たな卸資産の増減額(△は増加)	146,611	75,244
仕入債務の増減額(△は減少)	△122,776	213,046
前受金の増減額(△は減少)	△99,154	—
その他	6,801	55,766
小計	213,502	△78,641
利息及び配当金の受取額	4,411	4,158
利息の支払額	△10,102	△9,338
法人税等の支払額	—	△30,149
法人税等の還付額	23,510	—
その他	2,561	1,750
営業活動によるキャッシュ・フロー	233,884	△112,220
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△6,975	△2,219
有価証券の売却による収入	3,630	2,306
有形固定資産の取得による支出	△28,702	△25,957
無形固定資産の取得による支出	△1,125	—
貸付けによる支出	△460	△1,000
貸付金の回収による収入	2,160	2,030
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,473	△24,841
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,200,000	1,200,000
短期借入金の返済による支出	△1,200,000	△1,200,000
長期借入金の返済による支出	△43,006	△26,338
自己株式の取得による支出	△154	△117
配当金の支払額	△26,655	△26,650
財務活動によるキャッシュ・フロー	△69,815	△53,106
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	132,595	△190,167
現金及び現金同等物の期首残高	965,387	1,123,235
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,097,982	933,067

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益 計算書計上 額(注) 3
	エネルギー 関連事業	産業システ ム関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	996,254	929,125	1,925,380	147,517	2,072,898	—	2,072,898
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	996,254	929,125	1,925,380	147,517	2,072,898	—	2,072,898
セグメント利益	164,857	82,811	247,668	17,915	265,584	△139,591	125,992

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店の経営等を含んでおります。
- 2 セグメント損益の調整額△139,591千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益 計算書計上 額(注) 3
	エネルギー 関連事業	産業システ ム関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,076,417	1,016,172	2,092,590	155,609	2,248,199	—	2,248,199
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,076,417	1,016,172	2,092,590	155,609	2,248,199	—	2,248,199
セグメント利益	199,049	143,087	342,137	16,678	358,815	△140,560	218,255

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店の経営等を含んでおります。
- 2 セグメント損益の調整額△140,560千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更による各報告セグメントにおけるセグメント利益に与える影響額は、軽微であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
エネルギー関連	971,145	101.0
産業システム関連	1,005,536	120.7
その他	3,047	100.4
合計	1,979,729	110.1

(注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当第2四半期累計期間における受注実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
エネルギー関連	1,031,584	78.3	1,486,611	113.7
産業システム関連	742,163	127.2	357,173	123.8
その他	3,047	100.4	—	—
合計	1,776,796	93.3	1,843,784	115.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
エネルギー関連	1,076,417	108.0
産業システム関連	1,016,172	109.4
その他	155,609	105.5
合計	2,248,199	108.5

(注) 1 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
(株)アルバック	29,350	1.4	444,930	19.8
独立行政法人日本原子力 研究開発機構	217,242	10.5	225,946	10.1
(株)日立製作所	192,995	9.3	178,786	8.0
日立GEニュークリア・ エナジー(株)	155,795	7.5	147,267	6.6

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。